

補助事業番号 20-1-041

補助事業名 平成20年度 野外活動の推進補助事業

補助事業者名 財団法人 日本余暇文化振興会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

二酸化炭素を吸収する森林を保全し、増やしていくことが森林国日本にとっての効果的な地球温暖化対策の一つと言われている。

本大会は森林でのスポーツの健康への効用を提唱してきたが、これからは上記の「地球温暖化対策にも役立つ」という大儀を掲げて、スポーツピープルが積極的な環境への取り組みができることを実感し、その効用を広く社会に広めていくことを新たな目的に加える。大会参加を通じて、地球環境問題を実感し、行動し、もって文教、環境その他の公益の増進に寄与することを目的としている。

(2) 実施内容

①森林マラソン（メインイベント）

広大な定山溪国有林の中にある電気バス発着場をスタート、ゴールの主会場とし、豊平峡ダムを折り返し、網の目状に広がる林道も一部使用した。

16km：男女 39歳以下 245名／40歳以上 366名

5km：男女 218名 参加者合計：819名（登録829名）

②森林浴ウォーク&ノルディックウォーキング

森林の恩恵を感じながら健康増進と環境保全の啓蒙を目的とした誰でも参加できる種目。ウォーキングアドバイザーの指導で高校生からシニアまで幅広い世代が参加した。ウォーク 5km：121名、ウォーク 10km：82名、ノルディックウォーキング 10km：49名 参加者合計：254名（登録252名）

③マウンテンバイクツーリング

中山峠付近の2箇所のスタート地点から初級者、上級者に分けて開催したツーリング。初級者：5名、上級者 30名 参加者合計：35名

①②③参加者総合計：1108名

④森林ホーストレッキング 参加者合計：8名

⑤森づくりボランティア体験 参加者合計：延べ170名

森づくりの専門家の指導により、カミネッコン（苗）を作成した。

⑥健康達人森もり交流会 参加者合計：延べ170名（野外開催分含む）

2. 予想される事業実施効果

洞爺湖サミットの直後に開催した関係もあり、関係者、参加者の双方が環境問題、特に地球温暖化対策には関心が高く、主催者が用意した環境保全プログラムにも積極的な参

加と共感を得ることができた。従来から提唱してきた森林での健康増進活動が環境保全活動に繋がっていることを普及啓発することができた。その成果が社会の関心を引き起こし、森林でのエコスポーツ（化石燃料を使用しない）に参加する人が増え、健康増進と環境保全の好循環が加速することが期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物等

- 「北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪」募集パンフレット
- 「北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪」大会プログラム
- 「北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪」実施報告書
- 「北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪」記録ビデオ

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 財団法人日本余暇文化振興会（ザイダンホウジンニホンヨカブンカシンコウ
 カイ）
住 所： 101-8641
 東京都千代田区神田松永町19-2
代 表 者： 理事長 今林 弘（イマバヤシ ヒロシ）
担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）
担 当 者 名： 常務理事 小杉 哲（コスギ サトル）
電 話 番 号： 03-5295-2033
F A X： 03-5295-2046
E-m a i l： <mailto:kosugi694558@mb.knt.co.jp>
U R L： <http://www.yokabunka.or.jp/>